

30 ニホンイトヨ

(トゲウオ科)

兵庫県ランク:A

Gasterosteus nipponicus

環境省ランク:LP

種の概要

全長7cm程度。淡水域では水生昆虫や小型の甲殻類を食べる。繁殖期は2月下旬～5月、沿岸部から汽水を経て、淡水の緩やかな流れに遡上し産卵する。雄が流れの緩やかな砂泥底に小さな窪みを作り産卵床とし、雌を呼び込み産卵させる。北海道から北九州に至る日本海側河川、青森県から千葉県に至る太平洋側河川の下流域からその沿岸海域に生息する。



写真提供:兵庫県立人と自然の博物館(撮影:増田 修)

県内における生息状況及びその他特記事項

県内では日本海側の円山川、岸田川水系で確認されている。近年の記録として、1995年に円山川で確認されて以降記録が途絶えていたが、2005年に同じく円山川で確認された。これ以降の記録はなく、生息は危機的な状況にある。

保護上の留意点

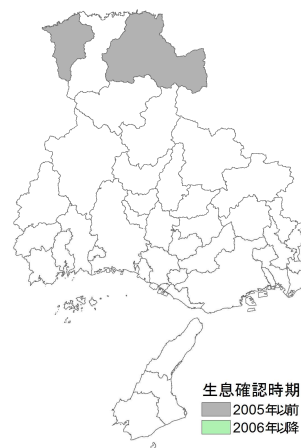
本種は海から河川を遡り、淡水の流れの緩い小溝や小川で繁殖を行う。生息には遡上経路が堰などの横断工作物により遮断されていないこと、産卵に適した湧水湿地環境の存在が必要で、場合によっては再創造をする必要がある。

県内分布

豊岡市、新温泉町

主要な選定理由

人為性	激減	○
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	○
	孤立	○
	極限	○
学術性	限界	
	希少	○



【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励